

香川県広域水道企業団水道事業地区別意見交換会
令和4年度会議議事録（小豆ブロック統括センター）

会議日時

令和5年1月27日（金）午後1時30分から

場所

池田保健センター2階会議室

出席人数

委員 7人

事務局 6人

傍聴者なし

議題

2 (2)．土庄給水区域における水道料金改定について

【意見】

- ①基本料金、超過料金やメーター使用料はどのくらい上がるのか。
- ②土庄町エリアのみ料金が上がっており、不公平に感じる。
- ③資料では家庭の使用量が20 m³となっているが、土庄町エリアの水道使用量のことなのか。
- ④令和10年度以降の水道料金はどのようになるのか。
- ⑤料金が上がる要因として、設備の水準とあるが何か基準があるのか。

【回答】

- ① 家庭用では、基本料金が1,150円から1,380円、超過料金は15 m³までが1 m³につき190円から228円、メーター使用料が140円から168円等、全ての料金が20%増となっている。
- ② 令和9年度までは区分経理となっており、土庄事業体として（施設の更新整備を踏まえた）会計を行っていく必要がある。令和10年度からは統一料金となる。
- ③ 全国的な指標では1世帯20 m³となっている。標準的な使用量が一人当たり8～10 m³であり、2人世帯では20 m³ぐらい、4人世帯では40～60 m³である。
- ④ 高松市の水道料金体系が基本になると思われるが、近年の物価上昇により現在の高松市の料金よりは上がると思われる。
- ⑤ 有収率が70%と平均より低くなっており、有収率を上げる必要がある。毎年エリアを区切って漏水調査をしているが、埋設深度が深いところなどでは音を聞き取ることが出来ない。有収率を改善するには施設を更新していく必要がある。

2 (5). 意見交換会

【意見】

- ① 昔の配水管の耐用年数はどのぐらいなのか。また、現在の技術では何年なのか。
- ② 肥土山浄水場が更新された場合、北山浄水場は廃止となるのか。
- ③ 管路の総延長が 200 k m となっているが、給水管も含まれるのか。
- ④ 10 年前と比較して水道業者が減少していると感じる。10 年後も島の水道業者を残していく手段を考えているのか。
- ⑤ 井戸を使うなどにより水道使用をやめることはできるのか。
- ⑥ 土日に漏水があった場合はどのようにすればよいのか。
- ⑦ 支払方法についてクレジットカードなどに対応しているのか。

【回答】

- ① 昭和 40 年代、50 年代は塩化ビニル管のものが多く、継ぎ手の糊付け部分が 40 年ぐらいだと言われている。現在は耐震管であり、大きな地震でも耐えられるようになっており、耐用年数は 80～100 年と言われている。
- ② 当初は土庄町エリアのみの計画であったため、北山浄水場を廃止する予定であったが、肥土山・北山・中山・湯船浄水場を統廃合する計画へと変更した。その場合、配水量が不足するため、北山浄水場をしばらく使用する計画へと変更した。
- ③ 本管のみで給水管は含まれない。吉田ダムからの導水管も含まれるため、延長が長くなっている。
- ④ 緊急漏水等に対応していくため、水道業者との連携は欠かせない。10 年後も業者が事業を維持できるように、工事を発注するなどの対策を行っている。
- ⑤ 井戸水の水質検査を行っていただき、飲み水として適合しているのなら水道使用をやめることもできる。その場合は指定給水装置工事事業者を通じて申請していただくこととなる。
- ⑥ お客さまセンターへ電話いただくと電話案内ガイダンスが流れるようになっており、土庄町エリアであれば担当職員が、小豆島町エリアであれば内海浄水場の宿日直員が対応することとなっている。
- ⑥ クレジットカードやQRコード決済サービスに対応している。クレジットカードはYahoo! 公金支払いから申請していただくこととなる。QRコード決済は納付書のバーコードを読み取ることにより支払いすることが可能である。